

開発状況② : Tellusの機能

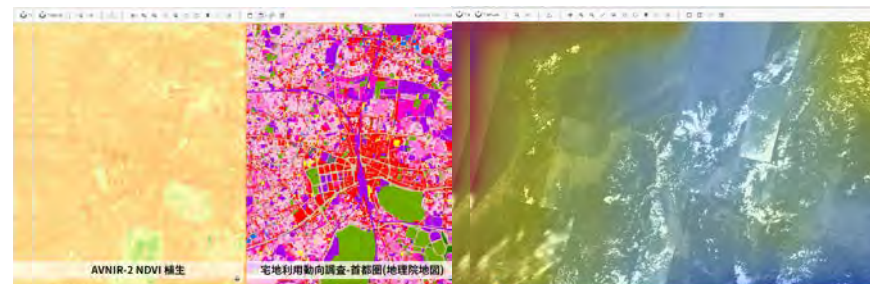
- Tellusは、衛星データと様々な地上データ（気象、人流等）を分析・解析するために、①ソフトウェア、②コンピューティングリソースを提供。
- 2月21日は、以下の機能を搭載したVer1.0を提供。来年度、各機能・ユーザビリティの拡充を進める。

<機能1>

衛星データと地上データの閲覧・重ね合わせ機能

Tellusに搭載された衛星データと地上データに加え、ユーザが保有する外部ファイルを取り込み、地図上に重ね合わせて表示するブラウザアプリケーション。データの傾向、相関等の簡易な可視化が可能。

（★想定ユーザ：ライトユーザー）



新宿駅周辺の植生（衛星画像）と宅地動向（地理院）の比較・閲覧

関東甲信越の日別降水量（Gsmap）と土地被覆（衛星）の重ね合わせ

<機能2>

重ね合わせたデータの分析・解析機能

機械学習に適したプログラミング言語での解析や、アプリ開発が可能な環境。重ね合わせたデータにユーザーが作成した解析アルゴリズムを適応可能。

（★想定ユーザ：データ解析事業者）

※無償でコンピューティングリソース（CPU:8core、メモリ：16GB、ディスク：SSD 500GB）を提供。今後、より高度なリソース（GPU等）も提供予定。



Jupyter notebook上で、衛星データを使って雪質を解析